

甘酒第二水力発電所事業性評価調査事業

1. 事業の目的

長野県八ヶ岳連峰蓼科山の山麓を源流とした農業用水路は、弊社所有の甘酒水力発電所（発電所出力533kW、平成31年1月運開）を経由して万仁田沢に流れ込んでいる。

本事業は、甘酒水力発電所放水口から取水し、万仁田沢沿いに約1.5kmの水圧管路にて発電所まで導水し発電後に農業用水路に放流する発電計画について事業性評価を実施する。

2. 事業の内容

(1) 事業者名

株式会社シーエナジー

(2) 補助事業の名称

甘酒第二水力発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間

令和4年5月20日～令和5年1月31日

(4) 調査を実施する発電設備の概要

- a. 発電形式：水路式
- b. 使用水量：0.5m³/s
- c. 有効落差：107.66m
- d. 出力：411kW

3. 事業実施概要

<令和3年度>

- ① 地形測量 発電所計画地点について地形測量を行なった。

<令和4年度>

- ① 作業道整備 ボーリング用機材を運搬するために地質調査箇所までの作業道の整備を行なった。
- ② 地質調査 水圧管路、発電所予定地点においてボーリングにより地質調査を行なった。
- ③ 基本設計

昨年度実施した地形測量、今年度実施した地質調査の結果を踏まえ、発電設備の基本設計を行うと共に、水槽までの新設道路の概略検討を行なった。

④ 事業性評価

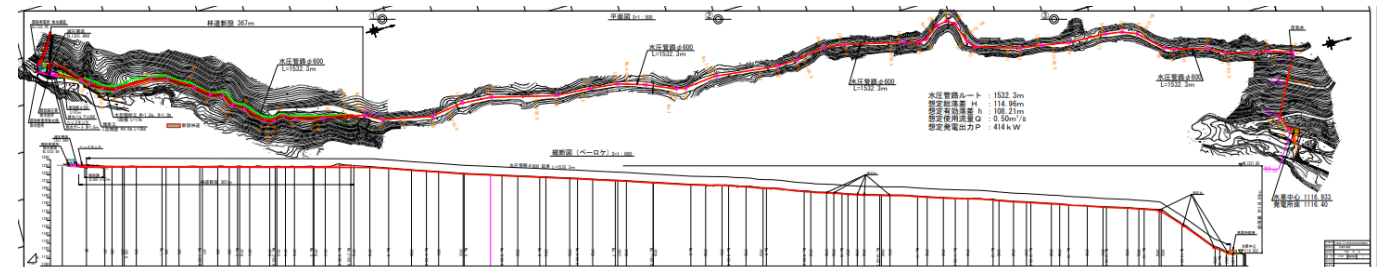
基本設計に基づき工事数量を算定し工事費を求めると共に発生電力量により事業性評価を行なった。

4. 事業の成果等

地質調査により、発電設備を設置することが可能な地耐力を有する地質であることが把握できた。

地質調査の結果や昨年度実施した地形測量の結果を用いて、基本設計を実施し、発電所の基本設計図を作成し発電所の概略諸元を求めることができた。

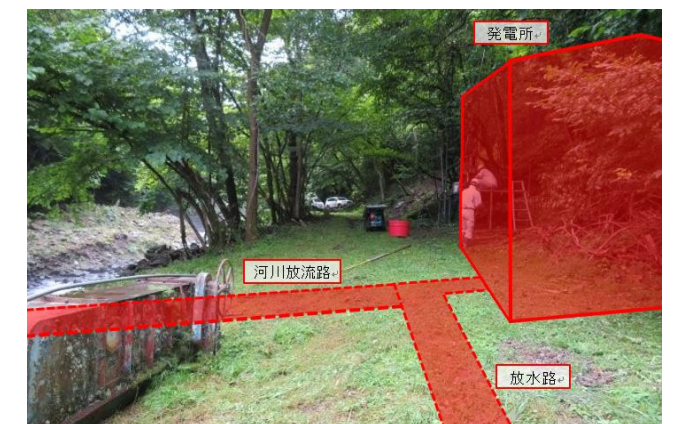
また、基本設計に基づき工事数量を算出し概算工事費を求めると共に発生電力量により、事業性を評価した結果、開発可能な経済性を有する地点であることが把握できた。



発電所全体計画図



水槽イメージ



発電所イメージ

5. 事業スケジュール

調査項目	令和3年度(実績)												令和4年度(実績)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地形測量																								
作業道整備																								
地質調査																								
基本設計																								
事業性評価																								

【凡例】
■・・・実績
・・・計画
・・・自主事業



作業道整備状況



ボーリング調査状況